

平成 30 年度 文の京ゆかりの文化人顕彰事業

朗読コンテスト

【課題作】指定部分

*以下の参考書籍は文京区立図書館で所蔵しています。書店等での入手可能です。
*版によっては頁数が異なる場合があります。

| 作家名 | 作品名 | 参考書籍 | 頁 | 指定範囲(読み始め～読み終わり) |
|-------|-------|---------------------------------------|----------|--|
| 有島武郎 | 一房の葡萄 | 岩波文庫 『一房の葡萄』 1988.12 発行(改版) | 14-15頁 | 「君はジムの絵具を持っているだろう。 ～しくしくと泣き出していました。 |
| 芥川龍之介 | 蜜柑 | 新潮文庫 『蜘蛛の糸・杜子春』 2010.04 発行(改版) | 38-39頁 | ^{トンネル} やっとなんかを出了たと思う ～退屈な人生を僅に忘れる事が 出来たのである。 |
| 中勤助 | 銀の匙 | 角川文庫 『銀の匙』 2016.11 発行(改版) | 65-66頁 | お国さんのおとう様は骨格のたくましい こわい人で、～二階へいってしまった のでようやくほっと息をついた。 |
| 宮沢賢治 | よだかの星 | 新潮文庫 『新編 銀河鉄道の夜』 2012.04 発行(改版) | 44-45頁 | よだかはもうすっかり力を落してしまって、 ～今でもまだ燃えています。 |
| 森鷗外 | 最後の一句 | 新潮文庫 『山椒大夫・高瀬舟』 2006.06 発行(改版) | 245-246頁 | この時佐佐が書院の敷居際まで ～「御用が済んだから、引き取れ」と 言い渡した。 |
| 山本有三 | 路傍の石 | 新潮文庫 『路傍の石』 2003.01 発行(改版) | 253-254頁 | 吾一は染めもの屋にさらしを置くと、 ～これもいつのまにか、 通り過ぎてしまった。 |

お問い合わせ

〒112-8687 東京都文京区大塚 1-5-2
跡見学園女子大学 文京キャンパス事務室 朗読コンテスト係
TEL : 03-3941-7420 URL : <http://www.atomi.ac.jp/univ/>

観覧希望について

右のハガキに必要事項を記載の上、送付ください。

*ハガキはキリトリ線で切り離してご利用ください。切手は不要です。

*いただいた個人情報は本事業の運営上必要な業務以外には使用しません。

*観覧応募者多数の場合は、抽選となります。招待券は10月初旬を目安に発送いたします。

郵便はがき
1128790
129



差出有効期間
平成29年6月20日から
平成31年6月19日まで

東京都文京区大塚1-5-2
跡見学園女子大学
文京キャンパス事務室
朗読コンテスト係 宛



有島武郎 一房の葡萄
芥川龍之介 蜜柑
中勤助 銀の匙
宮沢賢治 よだかの星
森鷗外 最後の一句
山本有三 路傍の石

朗読コンテスト

平成30年度 文の京ゆかりの文化人顕彰事業

名作の子どもたち
未来へつなぐ文化遺産

本選観覧者
同時募集中!



日時 | 平成30年10月28日(日)午後1時開演

会場 | 跡見学園女子大学ブロッサムホール